

10月18日 子育て講話 演題:つなぎ・育む関係づくり

講師:佐賀女子短期大学

准教授 白濱 洋子先生



講演では、「“三つ子の魂百まで”ということわざがあるが、3歳までしっかりと愛情を込めて関わることが重要。この時期の関わりが、まさに“子どもの人生の土台”であるということ。また子どもとの関わりの中で自己肯定感を高め



てやることが大切。さらに、“ひとつ”、“ふたつ”…など、最後に“つ”がつく九つ(9歳)までに“しつけ”をしっかりとつけるようにすること。」という話が心に残りました。参加者からも「2歳の“いやいや期”の子

がいて、時々イライラしてしまっている。お話を聞いて、長い一生の中の子育てを考え直して、一緒に楽しんで育てていきたい。」「いつか来る思春期のためにも後悔のない育児をしたい。」など、かなり好評でした。

